押仲
細川町会長題字

押上一丁目仲町会広報部
編集責任者　五月女　稔
第二十一号
平成十六年七月十八日

【婦人会の潮来旅行】

安藤　美智子

六月十三日、朝八時。二十六名の会員を乗せバスは押上の東京三菱銀行前を出発しました。

梅雨時の空模様が心配でしたが、なんとかお天気はもちそうです。首都高に乗ったバスは、幕張目的地、佐原市に向かいます。「お弁当は好きな時にご自由におあがりください」とのこと。なんと十一時なのに食べ始めた人もいます。バスの中は気まま、こんな具合です。

千葉県佐原につきました。押上の十間川の川幅よりいくらか広い程度という小野川が街の中を流れています。川を中心に街が形成されているのがわかります。両岸の古い商家の街並みは、時代劇のセットのようです。川沿いに伊能忠敬の記念館・旧宅をみつけました。どっちに入ろうかなと思う間もなく、私は入場料がない旧宅の中へ。気がつくと仲町会の顔ばかり。ここを観ただけで佐原の人々が、伊能忠敬を郷土の人として尊敬し親しんでいるのがわかりました。街全体が日本的な優しい街に感じます。平成八年、この佐原の町並みが関東で初めて、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されたということです。道沿いの和風の手工芸品のお店は女性達でいっぱい。私は手工芸店で麺類用の籠を、露天で細い竹の子を買いました。

バスは再び走ります。次の目的地は潮来です。バスの中で殆どの人が、お弁当を広げ始めました。私は我慢することにしました。娘船頭の漕ぐ舟の中で情緒に浸り食べた方がいいに決まっているからです。

潮来に着きました。茨城霞ヶ浦北浦・北利根川に囲まれ、千葉県に接する「水郷のまち」です。有名なのは〝あやめに娘船頭さん〟、お勧めは〝すずめ焼きに鉄砲漬〟、イベントは〝あやめ祭り〟。時まさにこの〝あやめ祭り〟の真只中。しかし人が多すぎ、約五百種類百万株あるという〝あやめ〟が余り目立ちません。

この旅のメイン「加藤州十二橋巡り」の時刻が近づきました。娘船頭さん操るサッパ舟に乗るのです。サッパ舟もエンジン付きになりました。仲町会婦人会は二船に分かれました。私達の娘船頭さんは、明るく面倒見がよさそうな昔は娘だった逞しい娘。ガイドのうまさは客を飽きさせず、〝綾小路きみ子〟と名づけたいほど。かって東洋のベニスとまで言われた水郷の美しさや生活様式は、土地改良によってその殆どが失われました。しかし今もなお僅かに残る水路の持つ素朴な原風景・美しさには、何とも言えぬ郷愁すら覚えます。

私の昼食・お弁当？　舟の中にしたのは大失敗でした。まず、花御膳のお弁当は、バスで揺れて、持ち歩いて揺れて、船で揺れて、味はともかく、まるで混ぜご飯。それに舟の中は落ち着かなくて。次ぎにいらっしゃる方、この行程はバスの中がいいですよ。私の体験的アドバイスです。

十二橋巡り堪能後、あと残すは「メロン！メロン！」黄色いのと、赤いの。食べほうだいで食べました、美味しかったです。帰途、那珂湊漁港で海産物のお買い物。安くて美味しいと言うお寿司を食べた人もいたようで。私は食べるのを逸し悔しかったです。楽しい日帰り旅行でした。浮かれて原稿までひきうけてしまったくらいですから。

婦人会の潮来旅行

【ＯＳＴ】

まだ六月なのに真夏日が続き皆様お元気でおすごしでしょうか。五月二十三日は総会の后、四月五月のお誕生日会を二十三人出席で致しました。梅雨の時期らしく紫陽花のお花を戴きました。

六月十七日は五地区芸能大会が催されました。ＯＳＴの美女九名〝涙そうそう〟と〝三六五歩のマーチ〟忙しい中の練習の成果は曳舟文化センターの会場に美声で一際輝きました。

六月二十八日　五地区の日帰り旅行〝那須の花の城〟〝お菓子の城〟〝あじさい街道〟を見学、りんどう湖のロイヤルホテルでおいしい昼食を頂きました。楽しい旅の一日でした。七月九日はロッテ会館でボーリングを行いました。ＯＳＴはいろいろ楽しい行事を催しております。是非大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

【しらとり子供会】

いつも子供会の活動、その他にご理解、ご協力頂きありがとうございます。今年度（平成十六年）の子供会会長になりました高野です。どうぞ宜しくお願い致します。頼もしかった六年生が卒業し、今年は二人の一年生が入学しました。やはり墨田区の小学校の選択の自由化は少なからず子供会に影響を及ぼし、ますます子供達は減っていく一方です。業平小学校の子供会の中で一番子供達の人数、世帯数が少ない子供会になってしまいました。でも子供達はとてもパワフルで元気一杯です。これからも、子供会の父兄の皆様や子供達と一緒に少ないながらも協力して頑張っていこうと思います。町会の皆様のさらなるご支援、ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

曳舟文化センターにて

【山陽吉備路】

石田輝雄

岡山発の普通列車（吉備線）で備前一の宮下車、ホームに「桃太郎の里・備前一の宮へようこそ」の大看板　可愛い駅舎だ。今日は此の処から徒歩で出発。五分程歩いて吉備津彦神社へ着く。一の鳥居を潜り石段を登ると左右に大きな石灯籠。高さ十一・五メートルで東洋一の由。更に石段を登ると深閑とした広い境内に優雅な三間流造りの本殿荘重な社殿、そして古代三島式庭園　祭神は吉備国を平定した四道将軍の一人吉備津彦命鄙びた土地にこんな立派な御社、驚きを感じた。お参りを済ます。神社を出た道路脇にある公衆トイレ男子用が彦、女子用が姫と記されてありユニーク。道を左にとると田園風景が開けてくる。小川に添って歩く　蓮華の花が畑一面で如何にも春。水門の手前を左に折れる。喉が渇く。やっと見つけた自販機で冷たい飲物を求め小休止。大分歩いた左側に鼻ぐり塚　畜魂供養を目的としたもので牛の鼻輪が高く積まれてあり一寸異様だ。道が幾分下りになり、右折すると突き当たりに石碑。吉備津神社と刻まれてある。石段を登ると大きな山門。山門を潜るとすばらしい御社。本殿は独特の型式で桧皮葺の入母屋の大屋根の上に更に二つの入母屋千鳥破風をのせ一つの屋根を構成するこれを吉備津造りと呼ぶ由。祭神は吉備津彦神社と同じ吉備津彦命である。お参りを済ます。本殿右手から三百五十メートルもある回廊が続く。回廊の奥、右側に雨月物語にも登場する釜殿（重文）があり吉凶を占う鳴釜神事が伝わっている。釜殿の入口に居た巫女さんが良い人で釜殿に招じてくれ、種々由来を説明してくれたのは有難かった。石段を降り左折すると比較的広い道路に出た。目の前にガイドブックで覚えたお茶だけの店　「栄西庵」　和菓子をそして抹茶を頂く。何とも美味しい。タクシーを呼んでもらい、マダムの「お気をつけて」の声に送られて、最上稲荷へ向かう。コンクリート製の大鳥居を潜って更に走り参道入口に着いた。参道の両側は土産物店や飲食店がぎっしりと並んでいる。一寸変わった造りの仁王門を潜る。最上稲荷は伏見・豊川と共に日本三大稲荷の一つであるとか。奉納最上位経大菩薩と染め抜いた赤い大きな幟が数十本も立っていた。土産物店に預かってもらった荷物の礼を述べ此の地の名物柚子煎餅を土産用に宅配便でと依頼する。先の運転手さんに教えてもらった通り案内所にタクシーを、と電話する。何と来てくれたのが先程の運転手さん。やがて右手に五重塔　聖武天皇の勅願によって諸国に建てられた国分寺の一つで備中国分寺。附近は桃の花が満開　作山古墳は運転手さんの説明を耳に車窓から眺めただけ。やがて総社宮へ着く。備中の主な神社三二四柱を合祀する名社との由。美しい回廊や古代三島式庭園に趣あり。総社駅前でタクシーを降りる。駅の待合室の椅子には毛糸で編んだカバーが座布団全部に被せてあり此の地の人達の優しい心くばりが何とも嬉しい。駅前通りに迄出て折り詰弁当を求め特急やぐも七号（伯備線）に乗る。備中高梁まで十七分。持込んだ弁当で車中昼食。車窓左が高梁川（昔高瀬舟が往来した川）眺め良好　時間がほしい。備中高梁駅前からタクシーで備中松山城へ向かう。城への登り口で下車　タクシーは此の処で待っていてくれるわけ。荷物は駅のロッカーに預け身軽だと言っても天守閣迄の急坂は仲々きつい。築城は秋葉重信（相模の三浦一族）で現在の城は天和年間水谷氏二代勝宗が改築した。我が国で最も高所（標高四二〇メートル）にあり天守閣と二重櫓等重文である。城の見学を終わり再び出発。市内にある武家屋敷を見学　次いで安国頼久寺へ。草創は不詳との事だが暦応二年足利尊氏が再興し備中安国寺とした後、永正年間に安国頼久寺と改称した由。庭園（小堀遠州の作庭）が何ともすばらしく旧態の儘現在保存されている事はめずらしく国の名勝（庭園）に指定されている。郷土資料館に入る。此の建物は市の重文　道路左手に城郭を思わせる様な堂々たる構えの松連寺。

直ぐ先に山中鹿之助の墓があった。備中高梁から普通列車（伯備線）で総社へ。駅前に少年の頃の銅像がタクシーで雪舟が幼時に修行したと言う宝福寺で（涙で描いたネズミの絵の伝説は有名）タクシーとお別れ。

宝福寺境内にある朱塗りの三重の塔は重文の由。塔頭の般若院に上がる。精進料理と湯どうふが有名との事だが、夕食も近い故、好評の湯どうふだけ味わう事にする。素焼のコンロに炭火、土鍋に丸い豆腐、薬味も仲々　流石にうまい。国民宿舎雪舟荘に十七時二十分チェックイン。係の女子職員の応対仲々良好。此の処吉備津地区（古社寺や古墳が点在）は史跡をめぐるサイクリングも多くあり、相互乗り捨て可と言う所もある由。翌朝ウグイスの囀りが聞こえる気持良い目覚めだった

俳句　夏の句　三席　宇多子

道路一面　酒盛り続く　大花火

遠く近く　川面輝く　大花火

ため息も　アエギに変わる　熱帯夜

【廃品回収日変更のお知らせ】

日頃より廃品回収にご協力頂きありがとうございます。八月の廃品回収日変更をお知らせいたします。

八月十三日（金）業務夏期休業日にあたり

八月九日（月）に変更になります。

（雨天の場合、また変更になります。）

八月二十七日（金）平常通り

（雨天でもビン、缶のみ回収いたします。）

おまちがえのないよう、ご協力お願いいたします。

【福利厚生部よりのお知らせ】

楽しかった、町会旅行から早4年が過ぎてしまいました。実は昨年度と本年度の予算を、合算した形で町会旅行を計画しておりましたが、昨年度の決算時に町会予算の残額の余裕が少なくなりました。そのため、町会旅行を実行するためには会員の方々の負担が大きくなる為あきらめざるを得なくなりました。そこで代替として、本年度は夏の納涼会を八月二十二日（日）の夕方から企画しております。内容と時間は未定ですが、町会員の方々に喜んでいただける楽しい催しにしたいと思っています。

【町会今後の予定】

七月三十一日（土）

第二十七回隅田川花火大会

平成十六年　例大祭

九月　十日（金）神酒所回り

九月十一日（土）例祭日

九月十二日（日）例祭日

【編集後記】

去年の夏は梅雨明けが異常に遅く、今年は逆に驚くほど暑い梅雨でした。最近の花屋さんにはカタカナの花が並び、知らない名前ばかりです。たまに朝顔や松葉牡丹を見掛けると、嬉しい気分になります。暑ければ暑いほど元気に花を咲かせるイイやつなんですから。夏のささやかな楽しみです。

携帯電話が普及して、不思議な光景が増えました。電車の車内でも、3分の1の乗客は携帯電話を握り締めています。私には、新興宗教の信者達が、あの小さな画面に出る教祖様のありがたいお告げを一心不乱に読んでいるように見えます。ちょっと不気味ですが。でも、そんなに携帯電話って重要なのでしょうか。何か妙なんです。私には！